

はじめに

「プレジャーボート用浮棧橋維持管理技術マニュアル(初版)」は、当協会の刊行物として、平成21年8月に発行しました。プレジャーボート用浮棧橋の設計段階での維持管理計画書の作成や供用後の点検実施等への活用を通じ、施設の適切な維持や更新費用の最小化を図ることを目的としており、これまで多くの方にご購読いただいております。

発行から10年以上が経過し、港湾の施設の技術上の基準や維持管理技術マニュアル等の改訂がなされるなど、施設の維持管理に関する技術そのものや点検診断の考え方等に、制度面を含め大きな変化が生じました。

本改訂版の検討に際しては、浮棧橋のメーカーや施工業者、鋼管杭防食メーカー及び専門コンサルタント、マリーナ関係者、国の研究機関等を構成員とする改訂委員会及びワーキンググループを組織しました。各般の指摘などもふまえ、維持管理計画の策定や点検診断、災害対応を含む対策について、更新すべき事項や新たに追加すべき事項をとりまとめました。また、参考資料において維持管理費(LCC)の試算例や係留杭被覆防食部の変状及び対策例を加えたほか、用語集も充実させました。

引き続き、プレジャーボート用浮棧橋の設計段階での維持管理計画書の作成や供用後の点検実施などのよりどころの書としてご活用いただき、施設の維持や更新費用の最小化に貢献できれば、甚だ幸いに存じます。

最後に、本書の改訂にあたり、ご指導・ご協力を賜りました国土交通省港湾局海洋・環境課及び技術企画課をはじめ、委員及び関係者各位に対して深く感謝申し上げます。

令和4年5月

一般社団法人 日本マリーナ・ビーチ協会

理事長 佐藤 恒夫

目 次

第1章 総 則	
1-1 適用範囲	1
1-2 一般	5
1-3 プレジャーボート用浮棧橋の要求性能	6
1-4 プレジャーボート用浮棧橋の設計供用期間	6
1-5 プレジャーボート用浮棧橋の維持管理レベル	7
第2章 維持管理の方法	
2-1 一般	10
2-2 点検診断	11
2-3 総合評価	11
2-4 対策	12
2-5 記録	13
第3章 維持管理計画等の作成	
3-1 一般	14
3-2 ライフサイクルコスト	16
3-3 劣化予測	17
3-4 維持管理計画書作成における留意事項	17
第4章 点検診断	
4-1 点検診断の実施時期、方法および項目	18
4-2 初回点検診断	21
4-3 日常点検	26
4-4 定期点検診断	27
4-5 一般臨時点検診断	33
4-6 詳細臨時点検診断	33
4-7 点検診断の判定基準	33
第5章 総合評価	
5-1 一般	35
5-2 性能低下度の判定基準	36
5-3 点検診断結果の整理	39
5-4 方針決定	40
第6章 対策	
6-1 一般	41
6-2 対策の選定	41
第7章 記録	
7-1 一般	45
7-2 記録の項目	45
7-3 記録の方法	46
7-4 保存の方法および期間	47
<参考資料>	
A-1 維持管理計画書の作成事例	48
A-2 プレジャーボート用浮棧橋の点検診断、評価、対策総括表	70
A-3 初回点検診断基準	72
A-4 日常点検診断基準	74
A-5 一般定期点検診断基準	75
A-6 詳細点検診断基準	77
A-7 施設点検総合評価	79
A-8 点検診断記録例	80
A-9 部品の交換頻度	83
A-10 L C Cの検討事例	84
A-11 係留杭被覆防食部の変状および対策例	87
A-12 用語集	99